

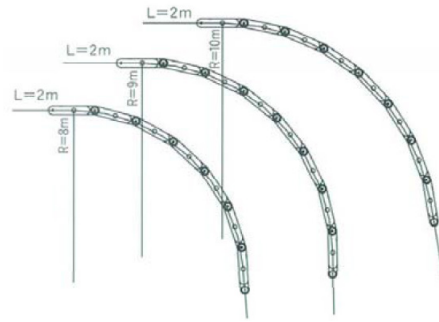
自在R 連続基礎ブロック

NETIS（国土交通省新技術情報提供システム）CB-050040-V

自在R連続基礎ブロックは、名前の通り自在にR線形に対応でき、置き式の暫定的使用から本設の恒久的の使用まで幅広く使えるブロックです。独立式の現場打ち基礎ブロックでは出来なかった安定計算が、連続基礎にすることで可能になりました。また、連続性があるため、衝突時に高い安全性が保たれます。

支柱の建て込み深さが確保できない現場や既設橋梁への歩車道分離等、様々な現場に対応いたします。また、緊急仮設等として置き式で使用したブロックを将来的に本設ブロックとして再利用することも可能です。

自在に曲線へ対応

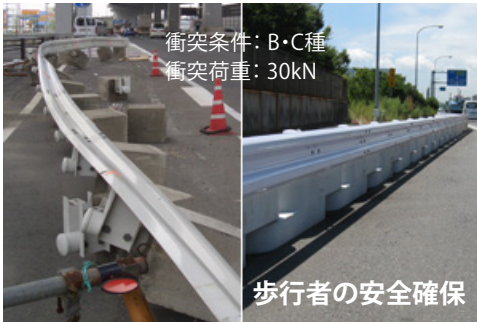


工期短縮

現場打ち基礎ブロックと比べると、型枠の設置やコンクリート養生に要する時間を短縮でき、さらに、強度の発生による供用開始までの期間が、約1/3と大幅に工期を短縮して工事を行うことができます。

※ 施工延長100m当り
設計基準強度 $\sigma_c=18\text{kN/mm}^2$ (28日強度) で算出

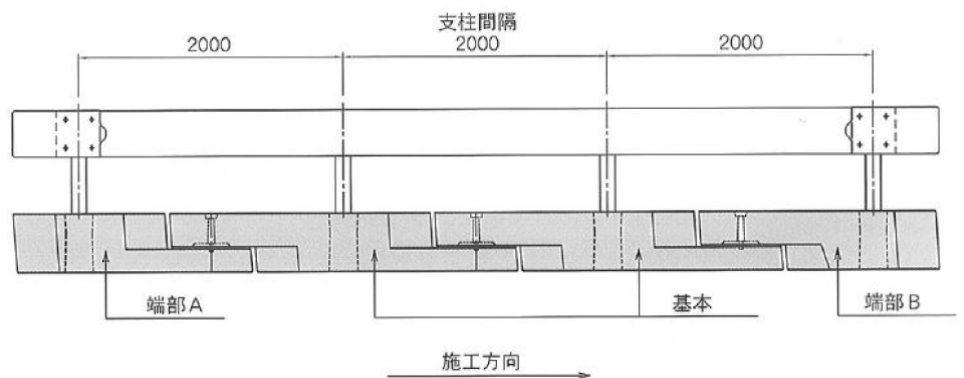
安定計算



独立式の基礎では安定計算が不可能

連続基礎とすることで安定計算も可能に!

製品構成



置き式



本設

